

JF-IETF-RFC5245

NAT 越えオファー／アンサーのための 双方向接続性確保プロトコル（ICE）

〔 Interactive Connectivity Establishment (ICE):
A Protocol for Network Address Translator (NAT)
Traversal for Offer/Answer Protocols 〕

第 1.0 版

2011 年 11 月 16 日制定

一般社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を一般社団法人情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC5245に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1.0版	2011年11月16日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC2119, RFC3605, RFC3261, RFC3264, RFC3556, RFC3312, RFC4032, RFC3262, RFC4566, RFC4091, RFC4092, RFC3484, RFC5234, RFC5389, RFC5766, RFC5768

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、オファー／アンサーモデルで UDP ベースのセッションを確立するために利用する、NAT トラバースのためのプロトコルである「ICE」を規定する。ICE は STUN プロトコルと、STUN プロトコルの拡張である TURN を活用する。ICE は SIP をはじめとする、オファー／アンサーモデルの全てのプロトコルで使用できる。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC5245 : 「Interactive Connectivity Establishment (ICE): A Protocol for Network Address Translator (NAT) Traversal for Offer/Answer Protocols」